

宿

日本を感じる、



長崎県・壱岐 海里村上

かいらむらかみ

DATA

住所●長崎県壱岐市勝本町立石西舩119-2
電話●0920・43・0770
交通●飛行機・長崎空港から壱岐空港へ。空港からは車で約20分。または、福岡空港から車で15分ほどで博多港へ。博多港からジェットフォイルで壱岐まで約60分。下船後、車で約15分。
料金●1泊2食2名の場合、1名3万3298円～ 写真の部屋4万2885円～(税・サ込) 休前日は3000円、年末年始は5000円アップ。
クレジット●AMEX、DC、JCB、UC、VISA
客室●15室
チェックイン●14時
チェックアウト●12時

<http://www.kairi-murakami.com>



玄界灘に浮かぶ 食の宝島で 遅い夏休みを満喫

コリッコリッ。生のアワビは菌ごたえがあつて、そのコリッコリという音までもが美味です。ところがこのアワビ、軽く焼いたりゆでたりと、ひとたび火を通すとやわらかくなり、うまみがジュワツと染み出てきます。こんなふうに変化するアワビを堪能できる「海里村上」はまさに玄界灘の美食の宿です。目の前は海。その海の前には対



馬島があり、さらには朝鮮半島があるはず。壱岐は古くから大陸との交流の中継地として役割を果たしてきた地。でも今は、漁業と農業が中心の静かな島です。海ではアワビやウニがとれ、里では米や大豆が育ち、塩もしょうゆも焼酎もつくられます。そんな食の宝島の良質な温泉地に宿ができたのが3年前。食と湯にうるさ

こだわりの部屋

206号室

5 全室オーシャンビュー。客室は広さなどが違う5タイプある。206号室は和室と洋室からなり、華美さのないシンプルなインテリアが落ち着き、安眠できる。



6 客室からもテラスからも、天気がよければ海に沈みゆくドラマチックな夕日が見られる。

い人の間で人気を得てきました。私たちはその評判を聞き、今年の夏は壱岐で過ごそうと決めたのです。近くの無人島に船で渡ると、白い砂浜と遠浅のコバルトブルーの海が待っていてくれました。海と戯れ、宿に戻ると今度はキャラメル色の温泉が優しく肌を包み込んでくれて。そして美食三昧。こんな素敵な島があったとは……。その晩、遅い夏休みをとるといふ友人にメールを送りました。行き先は壱岐がいいよ、と。

7 空気に触れると赤褐色に変色する独特の温泉は塩分と鉄分が豊富。体の中まで温めてくれる。飲用も可能。



撮影/公文美和
レイアウト/加藤安希子
構成/竹中はる美